

## 第1回浦河町教育委員会（定例会）会議録

1. 開会日時 令和4年1月28日（金）午後4時00分～午後4時58分  
場 所：浦河町役場 大会議室
2. 出席者 教育長：浅野 浩 嗣  
委員：小田 喜代子 委員：三好 直 樹  
委員：浦 きぬえ 委員：石垣 博文
3. 出席事務局職員 佐々木管理課長、住吉社会教育課長、鳥井社会教育課参事、  
横山給食センター所長、松本課長補佐、本郷主幹、橘指導主事
4. 会議録署名委員 小田委員、石垣委員
5. 行政報告及び行事予定  
—事務局から別紙資料により報告—
6. 議 案  
議案第1号 浦河町立学校における働き方改革アクション・プラン（第2期）策  
定の件  
—事務局より別紙資料により説明—
  - ・平成30年度から3箇年が第1期である。
  - ・目的は、教育職員が授業や準備に集中して、健康で生き活きとやりがいを持って勤務することによって、児童生徒の学校教育の質を高めることができる環境構築である。
  - ・現実には、長時間労働になっている実態があるのでアクション・プランを定めて取り組む。
  - ・令和2年度から北海道の出退勤システムを使っている。
  - ・7ページから具体的な取組みを記載している。
  - ・令和4年度よりストレスチェック実施、必要な対応をしていく予定である。
  - ・目標を定めて進めるに際しては教育委員会の一方的な指導ではなく、学校と協議しながらできることから進めていく。→質疑なし。原案のとおり承認された。
7. 報 告  
○学校における新型コロナウイルス感染症の対応について  
—事務局より口頭により説明—
  - ・今週、今までと対応が大きく変わった。

- ・オミクロン株の感染拡大により医療機関、保健所等で対応が困難な状況である。
- ・「保健所の積極的疫学的検査の重点化」…感染した方の同居家族、医療機関、介護施設等を重点的に対応する。
- ・それ以外の学校現場、これまで保健所が関わって対応できたものが学校と教育委員会で対応しなければならない。
- ・保育の現場、事業所でも同様である。
- ・大きく変わった点

#### ① 「濃厚接触者の特定」

従来：保護者や学校での情報をもとに保健所が調査を行って「濃厚接触者」・「低リスク接触者」特定、保護者に説明や検査指示する。

今後：学校で「接触者リスト」作成、保護者に対しても学校が説明を行う。

#### ② PCR 検査

従来：「濃厚接触者」保健所の指示のもと必ず PCR 検査実施する。

今後：PCR 検査なし。

#### ③ 濃厚接触者経過観察等期間の変更

従来：「濃厚接触者」14日間、経過観察・外出自粛する。

今後：「濃厚接触者」10日間、経過観察・外出自粛する。

症状あり…医療機関受診 PCR 検査実施する。症状なし…PCR 検査なし。

#### ④ 臨時休校・学級閉鎖の協議

従来：保健所と協議あり。期間についても協議する。

今後：保健所と協議なし。学校と教育委員会で期間は5日から7日程度を目安に設定する。

- ・校長会・教頭会実施し、保護者の皆さんへの周知をお願いした。
- ・保護者の皆さんへの連絡体制の確認、オンライン授業の準備を確認した。
- ・北海道の通知では、部活動は陽性者が出ている部活動は休止する。
- ・接触者が幅広いことが想定され、すべての部活動休止も検討する。
- ・英語指導助手とスクールソーシャルワーカーは、学校で陽性者が確認された場合や町内で感染が確認された場合等は、学校訪問を中止する。
- ・ただし、学校、保護者からの要請がある場合にはスクールソーシャルワーカーの訪問は行う。
- ・元気プログラムは対象の児童生徒が感染者、接触者となっていない場合は活動継続予定である。
- ・現在、学校開放は継続している。ただし、町内の感染状況や緊急事態宣言に移行となれば休止となる。
- ・学校で陽性者が確認された場合は、該当学校は休止となる。

○卒業式について

—事務局より別紙資料により説明—

- ・資料4ページは、昨年12月の校長会で協議した内容である。
  - ・状況が日々変化している。
  - ・2月に北海道教育委員会から卒業式・入学式についての対応について新たに通知が来る予定である。
- 質疑なし。原案のとおり承認された。

○浦河町校務支援システム導入事業について

—事務局より別紙資料により説明—

- ・公募型プロポーザルで選定した。
  - ・委託内容は記載のとおりである。
  - ・今後、様式等の決定を行いシステム稼働する予定である。
- 質疑なし。原案のとおり承認された。

○令和3年度全国学力、学習状況調査の概要について

—事務局より別紙資料により説明—

- ・町内全校の結果である。
  - ・小学6年、「書くこと」「数と計算」が全国・北海道平均より低い。
  - ・中学3年、「書くこと」「数と式」が全国・北海道平均より低い。
  - ・小中ともに同じ項目で低い。
  - ・無回答が多いので「読み取り」の力が必要ではないかと考えている。
  - ・今後は、学力向上推進委員会で話し合いながら取り組みを進める。
  - ・1時間以上の家庭学習が小学校は全国を上回っている。
  - ・1時間以上の家庭学習が中学校は全国を下回っている。
  - ・小学校の家庭学習内容の質、中学校の家庭学習時間の量の向上が必要
  - ・タブレット活用の学校間の格差をなくすよう取り組みを進める。
  - ・来年度は4月、3年間に1回の理科の調査もある。
- 質疑なし。原案のとおり承認された。